

# KENWOOD

## I-K900

---

デジタルメディアレシーバー

### クイックスタートガイド

お買い上げいただきましてありがとうございます。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、説明の通り正しくお使いください。

また、この取扱説明書は大切に保管してください。

本機は日本国内専用モデルのため、外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド



# 目次

---

- 3 クイックスタートガイドについて
- 3 商標について
- 4 安全上のご注意
- 6 時計と日付を調整しよう
- 8 ご使用の前に
- 10 各部の名称とはたらき
- 12 基本操作を覚えよう
- 16 ファイルを再生する (USB機器／iPod)
- 18 内蔵メモリーにファイルをコピーする
- 20 ラジオを聴く
- 22 音質を調整する
- 24 本機の設定をする
- 26 リモコンを操作する
- 29 本機を取り付けるときは

# クイックスタートガイドについて

---

このクイックスタートガイドでは、基本的な操作について説明しています。

クイックスタートガイドに記載されていない操作については、[manual.kenwood.com/edition/im337/](http://manual.kenwood.com/edition/im337/) からご使用のモデルの取扱説明書をダウンロードしてご覧ください。

取扱説明書は、以下の環境でご覧になれます。

**OS : Windows XP/Vista/7 または Mac OS X 10.4以上**

※ 閲覧にはAdobe Reader 7.1またはAdobe Acrobat 7.1以上が必要です。

取扱説明書は仕様変更などにより改訂されます。

最新の取扱説明書は、以下のウェブサイトからダウンロードできます。

<http://manual.kenwood.co.jp/edition/im337/>

## 商標について

---

- Windows Media™ は、米国 Microsoft Corporation の米国、およびその他の国における商標です。
- The "AAC" logo is a trademark of Dolby Laboratories.
- iTunes is a trademark of Apple Inc.
- "Made for iPod" and "Made for iPhone" mean that an electronic accessory has been designed to connect specifically to iPod or iPhone, respectively, and has been certified by the developer to meet Apple performance standards. Apple is not responsible for the operation of this device or its compliance with safety and regulatory standards. Please note that the use of this accessory with iPod or iPhone may affect wireless performance.
- iPhone, iPod, iPod classic, iPod nano, and iPod touch are trademarks of Apple Inc., registered in the U.S. and other countries.

# 安全上のご注意

製品を安全にご使用いただくため「安全上のご注意」をご使用前によくお読みください。

## 絵表示について

このクイックスタートガイドでは、製品を安全に正しくお使い頂き、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止する為にいろいろな絵表示をしています。

その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。



**警告**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



**注意**

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### ■ 絵表示の例



**注意**

△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。近傍に具体的な注意内容が描かれています。



**禁止**

⊘記号は禁止の行為であることを告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



**実施**

●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。近傍に具体的な内容が描かれています。

お客様または第三者が、この製品の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については法令上の賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

交通事故の発生を防ぐため、必ず以下の事項をお守りください。

## 警告



実施

- 運転者が以下のような行為をするときは、必ず、安全な場所に車を停車させてから、行ってください。
  - ・カーオーディオの操作（音量調節、USB機器の接続・取り出しなど）



禁止

- 運転者は接続したモニターの映像を見ないでください。



警告

- 運転中の音量は、車外の音が聞こえる程度でご使用ください。



- USB機器とUSBケーブルは、運転に支障をきたさないような場所に固定してください。

- 以下のような異常があった場合は、直ちに使用を中止し、購入店、またはケンウッドサービスセンターへご相談ください。そのまま使用すると、火災その他の事故の原因となります。

- ・音が出ない
- ・ディスプレイが表示されない
- ・異物が入った
- ・水がかかった
- ・煙が出る
- ・変な匂いがする



- 修理は必ず購入店、またはケンウッドサービスセンターにご依頼ください。お客様による修理は、火災その他の事故の原因となります。



禁止

- 本製品の分解や改造はしないでください。火災その他の事故の原因となります。

## 注意



禁止

- 本製品内に水や異物を入れないでください。発煙、発火、感電の原因となります。
- 本製品は、車載用以外としての用途では使用しないでください。
- 本製品に、強い衝撃を与えないようにしてください。ガラス部品を使用しているため、割れてケガをするおそれがあります。



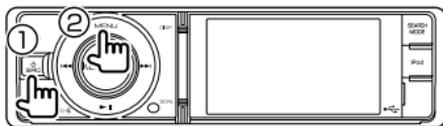
実施

- 本製品の取り付け・配線は技術と経験が必要です。安全のため〈お買い上げの販売店〉にご依頼ください。

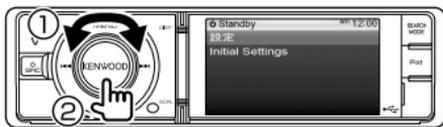
# 時計と日付を調整しよう

本機をご使用になる前に、時計と日付を調整しましょう。

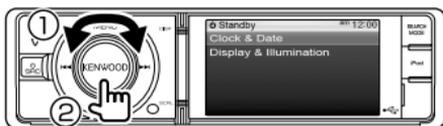
- 1**
- ① **SRC** を押して電源を入れ、
  - ② **MENU** を押す
- メニュー画面が表示されます。\*1



- 2**
- ① ボリュームノブを回して **設定** を選択し、
  - ② ボリュームノブを押す



- 3**
- ① ボリュームノブを回して **Clock & Date** を選択し、
  - ② ボリュームノブを押す



- 4**
- ① ボリュームノブを回して **Clock Adjust** を選択し、
  - ② ボリュームノブを押す



- 5**
- ① ボリュームノブを回して時  
間表示を選択し、
  - ② ボリュームノブを押す



- 6**
- ① ボリュームノブを回して  
「時」を調整し、
  - ② ボリュームノブを押す
- ※時計は12時間制で表示されます。



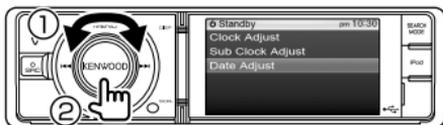
※1 電源を入れた直後に「To Cancel DEMO Press the volume knob」というメッセージが表示されたときは、「デモモードを解除する」(P.12)をご覧ください。

※2 **Clock Adjust** の「Home」、「Sub」項目の設定方法については、「時計の設定を変更しよう」(取扱説明書P.76)をご覧ください。

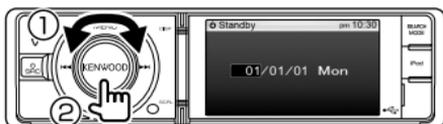
**7** 手順5および手順6と同様の手順で「分」を調整し、**MENU** を押す※2



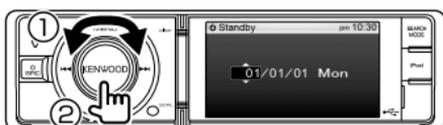
**8** ① ボリュームノブを回して **Date Adjust** を選択し、  
② ボリュームノブを押す



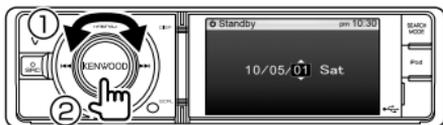
**9** ① ボリュームノブを回して年表示を選択し、  
② ボリュームノブを押す



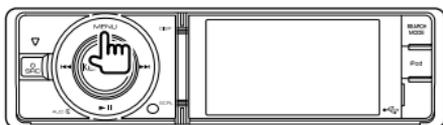
**10** ① ボリュームノブを回して「年」を調整し、  
② ボリュームノブを押す  
※年は西暦で表示されます。



**11** 手順9および手順10と同様の手順で「月」、「日」を調整する  
時計と日付が調整されました。



**12** **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押してメニューを終了する



# ご使用の前に

本機を使用させていただくうえで、知っておいていただきたいことです。

## デモモードについて

本機をはじめてお使いになるときや、本機をリセット (P.9) した後は、本機はデモモードに設定されています。ご使用の前にデモモードを解除してください。

デモモードを解除する方法については、「デモモードを解除する」(P.12)をご覧ください。

## 表示できる文字について

本機で表示できる文字は、シフトJISです。

## 本機に接続できるシステムについて

- 本機には、2002年以降に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムが接続できます。接続できるディスクチェンジャー、Bluetoothユニット、LX-BUS接続のTVモニターやナビゲーションシステムの機種名はカタログをご覧ください。
- 接続している機種により、使用できる機能や表示できる情報が異なる場合があります。
- 別売品のオートチェンジャー切替ユニット「KCA-S220A」を使用すると、ディスクチェンジャーなどを合計2台まで接続できます。接続などの詳しい説明は「配線をしましょう」(P.32) および、KCA-S220Aに付属の取扱説明書をご覧ください。

- 本機およびKCA-S220Aには2001年以前に発売のケンウッド製ディスクチェンジャー/CDプレーヤー、および他社製のディスクチェンジャーは接続できません。接続すると、破損や故障の原因となります。

## 使用できるリモコンについて

本機にはリモコン (RC-405J) が同梱されています。別売品で使用できるリモコンについては、カタログをご覧ください。購入店にお問い合わせください。なお、操作方法はリモコンに付属の取扱説明書に記載されています。

## お手入れについて

本機の操作パネルが汚れたときは、シリコンクロスか柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性のクリーナーを付けた布で汚れを落とし、その後クリーナーを拭き取ってください。スプレー式のクリーナーなどを直接本機に吹きかけると、本機の機構部品に支障を与える場合があります。また、固い布やシンナー、アルコールなどの揮発性のもので拭くと、傷が付いたり文字が消えることがあります。

## オートアンテナ付きの車に取り付けた場合

ラジオのアンテナが自動的に伸びるオートアンテナ車に取り付けた場合、音源をラジオにしたり交通情報機能をオンにすると、車両のアンテナが自動的に伸びます。

天井の低い車庫に入る場合は、本機の電源をオフにするか、FM/AM放送、交通情報以外の音源に切り替えてください。

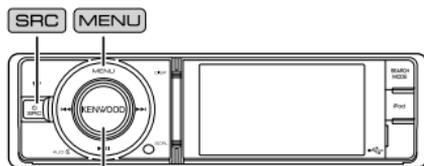
## お気をつけください

USB機器やiPod/iPhoneを車内に放置しないようにしてください。直射日光や高温などの影響により、USB機器やiPod/iPhoneが変形または故障する場合があります。

## 本機のリセット方法

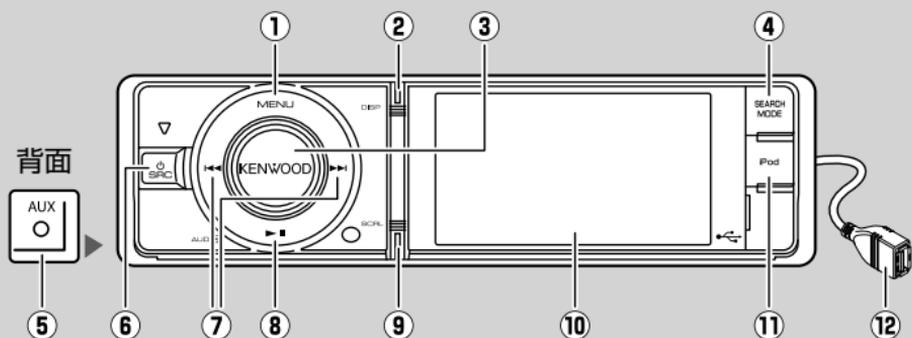
本機の異常にお気づきのときは、「故障かな? と思ったら」(取扱説明書P.101)を参照して解決方法をお調べください。解決方法が見つからないときは、下記の操作で本機をリセットしてください。

- ① ボリュームノブおよび **MENU** を押しながら、
- ② **SRC** を3秒以上押す



ボリュームノブ

# 各部の名称とはたらき



## ■各ボタンの機能

番号	名称	動作
①	メニューボタン MENU	<ul style="list-style-type: none"> <li>ファイルの選択や各機能の設定を行います。</li> <li>設定操作中、1つ前の項目に戻ります。1秒以上押しすと、第1階層まで戻ります。</li> <li>ファイル選択時は、1つ上のフォルダに戻ります。</li> </ul>
②	ディスプレイボタン DISP	<ul style="list-style-type: none"> <li>ディスプレイの表示を切り替えます。</li> <li>リストのページスクロールを行います。</li> </ul>
③	ボリュームノブ	<ul style="list-style-type: none"> <li>左右に回して、音量を調節します。</li> <li>設定操作時に、左右に回して項目を選択し、押してその項目の設定を決定します。</li> <li>ファイルの検索中に押して、選択したファイルやフォルダを決定します。</li> </ul>
④	サーチボタン SEARCH MODE	<ul style="list-style-type: none"> <li>ラジオ受信時に、バンドを選択します。</li> <li>iPod再生時に、曲やビデオを検索します。</li> <li>ファイル再生時に、次のフォルダに進めます。(USB、内蔵メモリー)</li> </ul>
⑤	AUX端子(背面)	ポータブルオーディオ機器などの外部機器を接続します。
⑥	ソースボタン SRC	<ul style="list-style-type: none"> <li>本機の電源をオンします。1秒以上押しすと、本機の電源をオフします。</li> <li>ラジオやUSB機器などの音源を切り替えます。</li> </ul>

番号	名称	動作
⑦	シークボタン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ラジオの周波数を切り替えます。</li> <li>•  を1回押すと、再生中のファイルを先頭から再生します。2回押すと、1つ前のファイルを再生します。</li> <li>•  を押すと、1つ後のファイルを再生します。</li> <li>• 押し続けると、早戻し/早送りします。</li> </ul>
⑧	再生/一時停止ボタン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ビデオやオーディオファイル、iPodの再生/一時停止をします。</li> <li>• 2秒以上押すと、USB機器やiPodの取り外しモードになります。</li> </ul>
⑨	スクロールボタン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• ディスプレイの文字表示をスクロールします。</li> <li>• リストのページスクロールを行います。</li> </ul>
⑩	ディスプレイ	ビデオや時計、再生中の曲の情報など、本機の動作内容を表示します。
⑪	iPodボタン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>• iPod以外の音源のときに押すと音源をiPodに切り替えます。</li> <li>• 音源がiPodのときはボタンを押すごとに、本機からのみ操作できるHANDS OFFモードと、iPod/iPhoneから操作できるHANDSONモードの2つのモードを切り替えます。</li> </ul>
⑫	USB端子	USB機器/ iPodを接続します。

# 基本操作を覚えよう

## 電源を入れてみよう

まずは本機の電源を入れてみましょう。

### 1 **SRC** を押す



本機の電源がオンになります。

**SRC** を1秒以上押すと、本機の電源がオフになります。

## デモモードを解除する

本機をはじめとお使いになるときや、本機をリセット (P.9) した後は、本機はデモモードに設定されています。

電源を入れると「To Cancel DEMO Press the volume knob」と表示されますので、以下の操作を行って、ご使用の前にデモモードを解除してください。

### 1 メッセージが表示されている間にボリュームノブを押す

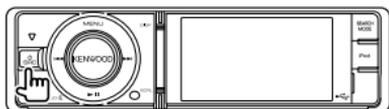
### 2 ボリュームノブを回して [YES] を選択し、ボリュームノブを押す

## MEMO

- デモモード解除のメッセージは、約15秒間表示されます。
- メッセージが消えた後にデモモードを解除するときは、**MENU** を押し、ボリュームノブを回して「DEMO Mode」を選択して、ボリュームノブを押してください。
- デモモードでは一定時間操作をしないと、デモ表示がはじまります。

## 音源を切り替えよう

### 1 聴きたい音源が表示されるまで **SRC** を数回押す



ディスプレイの表示は以下の音源を示しています。

**STANDBY** : 何も再生していない状態

**TUNER** : ラジオ

**USB** : USB機器

**iPod** : iPod、iPhone

**Int.Mem.** : 内蔵メモリー

**TV** : LX-BUS接続したテレビ (別売品)

**CD CH** など : ディスクチェンジャーなどの外部プレーヤー (別売品)

**AUX** : 内部AUX

**AUX EXT** : 外部AUX (別売品)

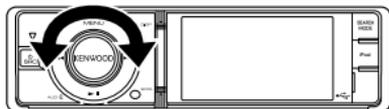
## MEMO

- iPodの接続が認識されると、画面の表示は「USB」から「iPod」に変わります。

## 音量を調整しよう

### 1 オーディオ再生中にボリュームノブを回す

右に回すと音量が大きくなり、左に回すと音量が小さくなります。



#### MEMO

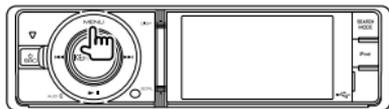
- メニュー画面を表示中は音量を調整できません。メニュー画面を終了してください。

## メニュー画面を操作しよう

本機では、音源ごとの設定をメニュー画面から行います。ここでは、メニュー画面の操作方法について説明します。

### 1 **MENU** を押す

メニュー画面が表示されます。



#### MEMO

- 選択している音源により、設定できる項目は異なります。

### 2 ボリュームノブを回して項目を選択する

選択している項目が移動します。

例：iPodの設定画面



### 3 ボリュームノブを押して、選択した項目を決定する



#### MEMO

- メニュー画面以外のリスト表示画面でも、選択・決定の操作方法は同様です。
- 1つ前の階層に戻るときは、**MENU** を押します。
- MENU** を1秒以上押すと、メニュー画面（第1階層）に戻ります。

## 本文中の表記について

P.16からの各機能の操作説明では、手順2および手順3のボリュームノブの操作をまとめて「**選択する**」と表記しています。

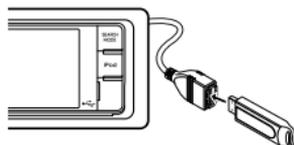
例えば、「**ミュージック** を選択する」という説明は、ボリュームノブを回して画面中の **ミュージック** を選択し、ボリュームノブを押して決定する操作を示します。

## USB機器の曲を聴く・観るには

### USB機器を接続する

- 1 USB機器を、奥まで確実にUSB端子に差し込む

USB機器内のファイルが再生されます。

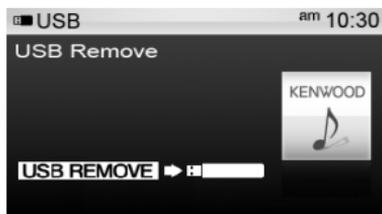


#### MEMO

- USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX（別売品：最大電流500 mA）の使用を推奨します。
- USBハブやマルチカードリーダーを接続して、複数のUSB機器やメモリーカードを接続することもできます。

## USB機器を取り外す

- 1 ディスプレイに **USB REMOVE** とインジケーターが点滅するまで、 を2秒以上押す



## 2 USB機器を取り外す

#### MEMO

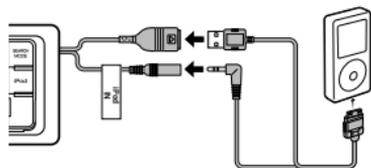
- 充電式USB機器の場合、接続中に充電されます。（本機の電源オン時のみ）
- この操作を行わずにUSB機器を取り外すと、USB機器内のデータが破損する場合があります。

## iPodを聴く・観るには

### iPodを接続する

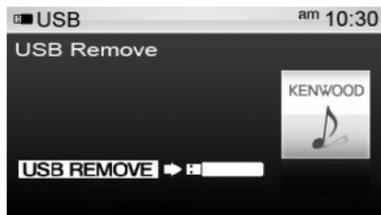
- 1 付属のiPod接続ケーブルで iPod を確実に接続する

iPod内のファイルが再生されます。



### iPodを取り外す

- 1 ディスプレイに **USB REMOVE** とインジケータが点滅するまで、**▶ ||** を2秒以上押す



## 2 iPodを取り外す

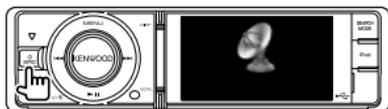
### MEMO

- iPod接続中は、iPodが充電されます。(本機の電源オン時のみ)
- この操作を行わずにiPodを取り外すと、iPod内のデータが破損する場合があります。
- iPod接続ケーブルはUSBケーブルで延長しないでください。

## ラジオを聴くには

- 1 **SRC** を数回押し、**TUNER** を選択する

ラジオが受信されます。



## リアカメラを表示する

別売のリアビューカメラが必要です。

- 1 車両のセレクトレバーをリバースにする  
リアカメラの映像が表示されます。

## リアカメラの映像を消す

- 1 ボリュームノブを回す以外のボタンを押す  
リアカメラの映像は消えます。

### MEMO

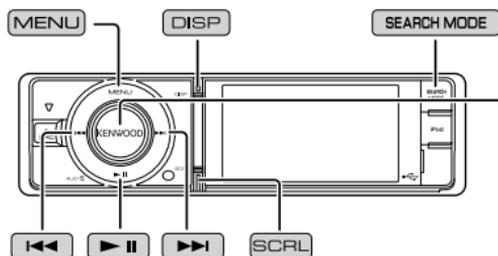
- リアカメラの映像を表示するには、「本機の設定をする」(P.24)の「R-CAM Interruption」項目を「ON」に設定している必要があります。
- ハンズフリー通話中はリアカメラの映像に切り替わりません。
- リアカメラの映像を消したあと、再度表示させる場合は、セレクトレバーをリバースに入れ直してください。



**注意**

- 運転は必ず目視で周囲の安全を確認してから行ってください。

# ファイルを再生する (USB機器 / iPod)



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **Play Mode**を選択する

→ボリュームノブを回して**Play Mode**を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

## ビデオ・オーディオファイル再生時

- 一時停止する → **▶||** を押す
- 一時停止から再生する → **▶||** を押す
- 早送りする → **▶▶** を押し続ける
- 早戻しする → **◀◀** を押し続ける
- ファイルの先頭に戻る → **◀◀** を押す
- 次のファイルを再生する → **▶▶** を押す
- 前のファイルを再生する → **◀◀** を2回押す
- 次のフォルダに進む → **SEARCH MODE** を押す  
(USB、内蔵メモリー)

## ピクチャーファイル再生時

- 次のファイルを再生する → **▶▶** を押す
- 前のファイルを再生する → **◀◀** を押す

## MEMO

- ・ビデオおよびオーディオファイルの早送り／早戻し中には音声が出ません。
- ・KSF (別売品のHDX-710などの音楽ファイル) を再生中は、早送り／早戻しはできません。
- ・再生可能なファイルが入っていないフォルダは選択できません。
- ・**◀◀**、**▶▶** で選曲した後は、アートワークを読み込むため、数秒間操作できなくなります。
- ・USB機器のビデオファイルの映像は本機のみで表示されます。iPod映像出力端子では表示できません。

## 再生したいファイルを探す (ファイルサーチ)

ファイルをリスト表示にして探します。

1 **MENU** を押す

2 リストを選択する

USB機器 : **USB List** または  
**ミュージック**

iPod : **ミュージック** または **ビデオ**

3 再生したいファイルを選択する

動作	操作
フォルダ、ファイル表示の切り替え	ボリュームノブを回します。
表示フォルダの選択または表示ファイルの再生	ボリュームノブを押します。
1つ上の階層に戻る	<b>MENU</b> を押します。
リストのページスクロール	<b>DISP</b> または <b>SCAL</b> を押します。
リストの連続スクロール	<b>DISP</b> または <b>SCAL</b> を1秒以上押します。 もう一度 <b>DISP</b> または <b>SCAL</b> を押すか、ボリュームノブを押すと停止します。

### ♪ こんなときは…

- ファイルサーチを中止する  
→ **MENU** を1秒以上押してメニュー画面に戻り、再度 **MENU** を押す。

### 📖 MEMO

- フォルダ名やファイル名の横に「▶」が表示されている場合は、下位階層のフォルダやファイルがあることを示しています。
- オーディオファイル再生中は、**SEARCH MODE** を押すと、フォルダを1つ先へ進めることができます。
- ファイルサーチでファイルを検索すると、そのファイルのある階層が本機に記憶されます。ファイルを検索した後に本機の設定を行う場合、**MENU** を押すと記憶された階層が表示されてしまいますので、一度 **MENU** を1秒以上押して第1階層に移動してから設定を行ってください。
- オーディオファイルを再生中にピクチャーファイルを選択すると、オーディオファイルの再生は継続されますが、操作はできません。オーディオファイルを選択する場合は、**DISP** を押してピクチャーファイルの表示を中止してください。
- ビデオを再生中にピクチャーファイルを選択すると、ビデオの再生が停止します。

# 内蔵メモリーにファイルをコピーする

USB機器からビデオ・オーディオ・ピクチャーファイルを本機の内蔵メモリーにコピーして再生できます。

ファイルの再生方法については「ファイルを再生する(USB機器/iPod)」(P.16)をご覧ください。

内蔵メモリー容量：512 MB (Built-in Flash Memory)

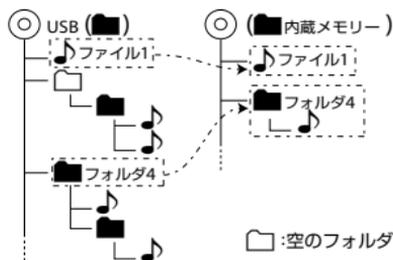
## MEMO

- USB機器によってはファイルがコピーできないことがあります。
- 内蔵メモリーにコピーしたファイルやフォルダを他のUSB機器にコピーすることはできません。

## ファイルをコピーする

USB機器から内蔵メモリーにフォルダまたはファイルをコピーします。

コピーは下図のように行われます。



**1** USB音源を再生中に **MENU** を押す

**2** **Copy from USB** を選択する

**3** コピーしたいファイルまたはフォルダを選択する

ファイルの探し方については、「再生したいファイルを探す(ファイルサーチ)」(P.17)をご覧ください。

**4** ボリュームノブを3秒以上押す

**5** **OK** を選択する

コピーが完了すると“Complete”と表示されます。

続けてコピーする場合は「NEXT」を選択し、手順3からの操作を繰り返してください。

コピーを終了する場合は「EXIT」を選択してください。

### ♪ こんなときは…

- ファイルやフォルダのコピーを中止する  
→ ファイルをコピー中にボリュームノブを押し、「YES」を選択する

## MEMO

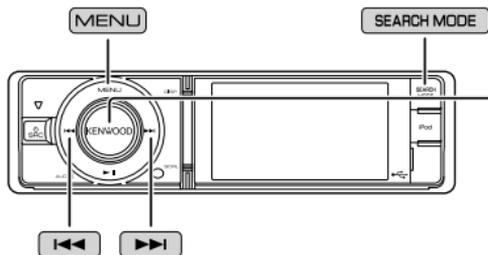
- フォルダをコピーした場合、サブフォルダとその中身はコピーされません。
- フォルダ内にコピーできるファイルがないと、そのフォルダではコピーを開始できません。
- 内蔵メモリーに同じ名前のファイルまたはフォルダがある場合、「OK」を選択すると、コピー後に“(名前)\_001”という名前が自動的に設定されます。
- ファイルやフォルダの容量が内蔵メモリーの空き容量より大きいときは“MEMORY OVER”と表示されます。ファイルやフォルダの容量を確認してください。
- フォルダをコピー中に内蔵メモリーの容量がいっぱいになった場合やコピーが中止された場合は、コピー済みのファイルはメモリー内に残ります。
- コピー中に表示されるメモリー容量は概算です。実際とは異なります。
- DRMファイルはコピーできません。
- コピーはエンジンをかけた状態で行ってください。コピー中にエンジンスイッチをONにすると、ファイルが消去されることがあります。
- コピー中に車両のACCをオフにすると、次回ACCをオンにしたとき“Continue USB Copy?”とメッセージが表示されます。「YES」を選択すると、コピーが続けられます。
- コピーおよび削除中はボリュームの調整とアッテネート、電源OFF以外の操作はできません。

## ファイルやフォルダを削除する

内蔵メモリーにコピーしたファイルまたはフォルダを選択して削除します。

- 1 内蔵メモリー音源を再生中に **MENU** を押す
- 2 **設定** を選択する
- 3 **Internal Memory Delete** を選択する
- 4 削除したいファイルまたはフォルダを選択する  
ファイルの探し方については、「再生したいファイルを探す（ファイルサーチ）」(P.17) をご覧ください。
- 5 ボリュームノブを3秒以上押す
- 6 **OK** を選択する  
削除が完了すると“Complete”と表示されます。  
続けて削除する場合は「NEXT」を選択し、手順4からの操作を繰り返してください。  
削除を終了する場合は「EXIT」を選択してください。

# ラジオを聴く



ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) **List & Memory** を選択する

→ボリュームノブを回して**List & Memory**を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

## 交通情報を聴く

再生中の音源に関わらず、いつでも交通情報を聴くことができます。

**1** **MENU** を押す

**2** **TI** を選択する

交通情報が受信されます。

**SRC** を押すと、交通情報の受信を中止して受信前の状態に戻ります。

### MEMO

- **▶▶** または **◀◀** を押すと交通情報の受信周波数を切り替えることができます。
- 交通情報の受信中にボリュームノブで音量を調整すると、その音量は記憶され、次に交通情報を受信したときも同じ音量で聴くことができます。

## 受信バンドを選択する

FM、AMの受信バンドを選択します。

**1** **SEARCH MODE** を押す

押すごとに受信バンドが切り替わります。

### MEMO

- **MENU** を押してお好みのバンドを選択して受信することもできます。

## 聴きたい放送局を自動で探す

**1** 聴きたいバンドを選択する

操作方法は「受信バンドを選択する」(P.20) をご覧ください。

**2** **▶▶** または **◀◀** を押す

受信状態の良い放送局が自動で受信されます。

## 放送局を手動登録する

受信している放送局を放送局リストに登録できます。リストに登録すると、簡単に呼び出すことができます。

- 1 お好みの放送局を受信する
- 2 **MENU** を押す
- 3 **List & Memory** を選択する  
放送局リストが表示されます。
- 4 登録する番号を選択して、ボリュームノブを2秒以上押す  
選択したリスト番号に、受信中の放送局が登録されます。

### MEMO

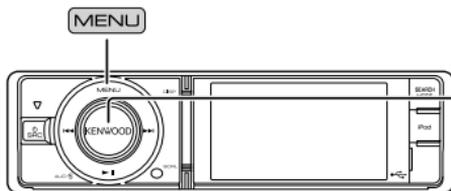
- 登録済みのリスト番号には上書きで登録されます。

## 登録した放送局を呼び出す

放送局リストに登録した放送局を呼び出します。

- 1 聴きたいバンドを選択する  
操作方法は「受信バンドを選択する」(P.20) をご覧ください。
- 2 **MENU** を選択する
- 3 **List & Memory** を選択する  
放送局リストが表示されます。
- 4 聴きたい放送局の番号を選択する  
選択した放送局が受信されます。

# 音質を調整する



## ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) 項目を選択する

→ボリュームノブを回して項目を選択し、  
ボリュームノブを押して決定する。

## 好みの音質に設定しよう

音響効果などを設定します。

### 1 音質を調整するソースに切り替える

操作方法は「音源を切り替えよう」(P.12)をご覧ください。

### 2 ボリュームノブを押す

### 3 ボリュームノブを回して項目を選択する

選択している項目が移動します。

### 4 ボリュームノブを押して、選択した項目を決定する

各項目の設定内容については、次の表をご覧ください。また、詳細な設定については、取扱説明書をご覧ください。太字で記された設定値は、初期設定値を示しています。

### 5 **MENU** を1秒以上押しして終了する

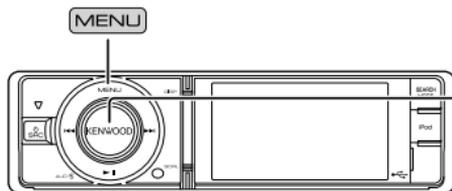
#### MEMO

- STANDBYソースでは音質を調整できません。
- 1つ前の階層に戻るときは、**MENU** を押します。**MENU** を1秒以上押すと、メニュー画面(第1階層)に戻ります。

表示		操作	設定値
SubWoofer Level		サブウーファアの音量を調整します。	-15 ~ <b>0</b> ~ +15
DSP Set		DSP機能のON/OFFを設定します。 Bypass : DSP機能が停止します。 Through : DSP機能を使用します。	<b>Through</b> / Bypass
Equalizer	Preset Equalizer	ジャンル別に設定されたイコライザーカーブを呼び出します。 イコライザーカーブは音源ごとに設定できません。	Natural/ <b>User</b> /Rock/Pops/Easy/Top40/Jazz/Game/iPod (iPod接続時のみ)
	Manual Equalizer	音楽に合わせて独自のイコライザーカーブに調整できます。	<b>取扱説明書P.82</b>

表示		操作	設定値
BassBoost		低音を増強します。	OFF/STEP1/ STEP2
HIGHWAY-SOUND		ロードノイズによってかき消される小さな音を大きくして、聞き取りやすくすると共に、消されがちな低音の強調をすることで、ロードノイズに負けない音にします。 音源をラジオに設定している場合は調整できません。	OFF/STEP1/ STEP2/STEP3
Supreme		Supreme機能のON/OFFを設定します。 音源をUSB、iPodおよび内蔵メモリーに設定しているときに表示されます。	ON/OFF
Position	Preset Position	聴く位置に合わせてプリセットポジションの設定をします。音像定位が補正されます。	ALL/FR/FL/ F ALL
	DTA	"Front"、"Rear"、"SW (SubWoofer)" のポジションをそれぞれ設定します。「Preset Position」で設定した値をスピーカーごとに微調整します。	L : 0 ~ 170 cm R : 0 ~ 170 cm
Balance		左右の音量バランスを調整します。	L15 ~ 0 ~ R15
Fader		前後の音量バランスを調整します。	F15 ~ 0 ~ R15
SubWoofer		サブウーファー出力のON/OFFを設定します。	ON/OFF
Detailed Setup	Car Type	車種を選択することで簡単にタイムアライメントを設定し、スピーカー間の距離差を補正します。	Off/Compact/ Sedan/Wagon/ Minivan/SUV/ One Box
	Speaker Setting	各スピーカーのサイズや取り付け位置を設定します。	取扱説明書P.79
	Car Type Adjust	「Car Type」で設定したスピーカー間の距離差を、使用する車両により合うように微調整します。	取扱説明書P.82
	X' Over	各スピーカーの補正をします。	取扱説明書P.83
	Volume Offset	音源ごとの音量差を調整します。 音源を切り替えても、ほぼ同じ音量で聴くことができます。	-8 ~ 0 (AUXの場合： -8 ~ 0 ~ +8)

# 本機の設定をする



## ボリュームノブ

以下のように操作します。

例) 項目を選択する

- ボリュームノブを回して項目を選択し、ボリュームノブを押して決定する。

## 各機能を設定しよう

各機能の設定などを行います。

**1** 設定するソースに切り替える  
操作方法は「音源を切り替えよう」  
(P.12) をご覧ください。

**2** **MENU** を押す

**3** ボリュームノブを回して項目を  
選択する

選択している項目が移動します。

**4** ボリュームノブを押して、選択  
した項目を決定する

各項目の設定内容については、次の表  
をご覧ください。また、詳細な設定に  
ついては、取扱説明書をご覧ください。  
太字で記された設定値は、初期設定値  
を示しています。

**5** **MENU** を1秒以上押して終了す  
る

## MEMO

- 1つ前の階層に戻るときは、**MENU** を押  
します。**MENU** を1秒以上押すと、メ  
ニュー画面 (第1階層) に戻ります。

## STANDBYソースの “Initial Settings” (初期設定)

表示	操作	設定値
Beep	操作時のピープ音を設定します。	ON/OFF
Built in AUX	音源選択時にAUXが表示されます。 ON : AUX音源に切り替えたときに、内部AUX端子に接続した外部機器の音声が出力されます。また、デュアルゾーン機能を使って、他の音源と同時に出力することもできます。常に外部機器を内部AUX端子に接続しているときはこの設定にします。 OFF : 内部AUX端子を使用しないときに選択します。	ON/OFF
AV Out Set	iPodの映像と音声をiPod Output端子からの出力専用を設定します。	ON/OFF
R-CAM Interruption	リアカメラの映像を表示するか設定します。 ON : 車両のセレクトレバーをリバースにすると、リアカメラの映像を表示します。 OFF : リアカメラの映像を表示しません。	ON/OFF
R-CAM Mirror	リアカメラの映像の表示方法を設定します。 ON : 左右を反対(鏡像)にして表示します。 OFF : 映像をそのまま表示します。	ON/OFF

## 各ソース

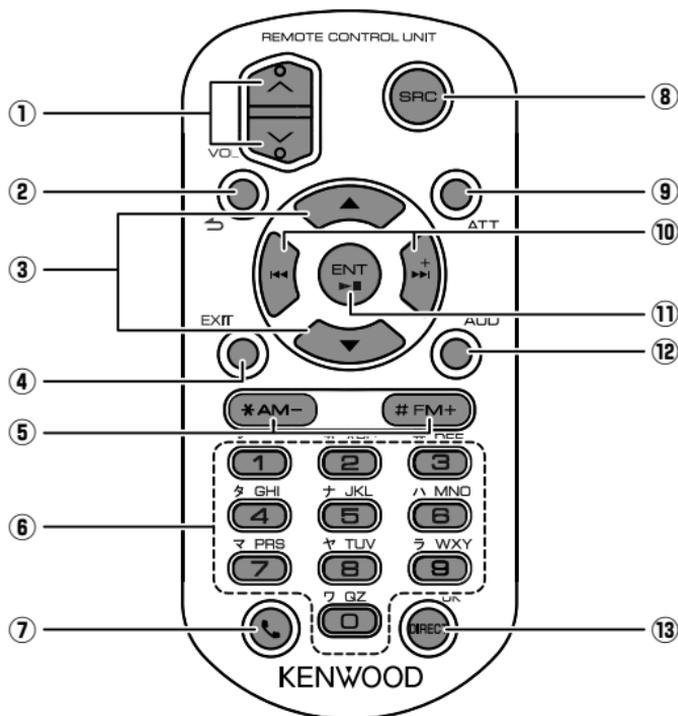
表示	操作	設定値
TI	交通情報を聴くことができます。(P.20)	—
DEMO Mode	デモ画面を表示するか設定します。(P.12)	ON/OFF

# リモコンを操作する

本機を付属のリモコン（RC-405J）で操作することができます。



- リモコンをダッシュボードの上など、高温になる場所に置かないでください。本機の変形など故障の原因となります。
- 電池は、幼児の手の届かないところに保管してください。万一、電池を飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 指定以外の電池を使用したり、電池を充電、ショート、分解したりしないでください。破裂、液漏れによる火災、けがの原因となることがあります。
- 電池を直射日光（炎天下）や炎のそばなどの高温となる場所に置いたり、火の中に入れてたりしないでください。発熱・破裂・発火による火災、けがの原因となることがあります。
- リチウム電池を交換するときは同型または同等タイプのもので交換してください。異なる種類の電池と交換すると、破裂、液漏れによる火災、けがの原因となることがあります。



番号	ボタン名称	機能
①	ボリュームボタン	・ 音量を調整します。
②	リターンボタン	・ 設定操作時、一つ前の項目に戻ります。 ・ USB機器、内蔵メモリーおよびiPodでのファイルサーチモード中、リストで項目を選択しているときに、一つ上のフォルダに戻ります。
③	▲／▼ボタン	・ 設定操作時、リストの項目を選択します。 ・ USB機器、内蔵メモリーおよびiPod再生時、ファイルサーチモードに切り替えます。
④	EXITボタン	・ 操作中のモードを解除します。
⑤	AM / FMボタン	・ ラジオのバンドを切り替えます。 ・ USB機器、内蔵メモリーのフォルダを選択します。 ・ ディスクチェンジャー再生時、ディスクを切り替えます。
⑥	数字ボタン	・ ラジオのプリセット番号を入力します。 ・ ダイレクトサーチモードで検索する数字を入力します。
⑦	電話ボタン*	・ Bluetoothモードに切り替えます。 ・ 電話を受けます。
⑧	ソースボタン	・ 音源を切り替えます。
⑨	アッテネーターボタン	・ ワンタッチで音量を小さくします。もう一度押すと、元の音量に戻ります。
⑩	シークボタン	・ ラジオの周波数を切り替えます。 ・ USB機器、内蔵メモリーおよびiPodのファイルを選択します。
⑪	決定ボタン	・ 一時停止／再生します。 ・ USB機器、内蔵メモリーおよびiPodで、ファイルサーチ中に選択したファイルを再生します。 ・ 設定操作時、選択した項目を決定します。
⑫	オーディオボタン	・ オーディオコントロールモードに切り替えます。
⑬	ダイレクトボタン	・ ダイレクトサーチのオン／オフを切り替えます。

\* 別売品の「KCA-BT300」または「KCA-BT200」接続時に操作できます。

## リモコンを準備する

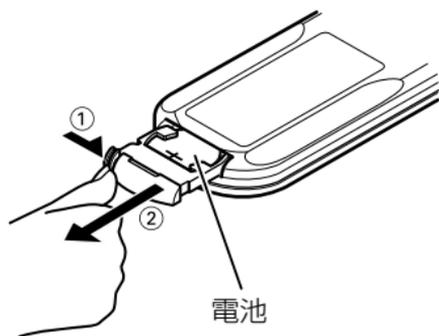
リモコン本体から電池のシートを矢印の方向に引き出してください。



## 電池を交換する

市販のボタン電池（CR2025）を使用します。

電池の+極と-極を合わせ、図のように本体のケースにセットしてください。



注意

- 使用済みの電池を廃棄する場合は、プラス、マイナス端子にテープを貼るなどして絶縁状態にしてから、各地方自治体の指示に従って廃棄してください。導電性のある金属片などと一緒に廃棄するとショートを起こし、破裂、発火による火災、けがの原因となることがあります。

# 本機を取り付けるときは

必ずお読みください

## 警告



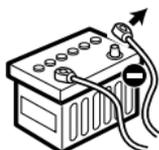
禁止

- 大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車で使用しないでください。火災などの原因となります。本製品はDC12V  $\ominus$  アース車専用です。



実施

- 配線作業中は、バッテリーの  $\ominus$  端子を外してから行ってください。ショート事故による感電やケガの原因となります。



- 本製品の配線は必ず、取扱説明書に記載してある通りに行ってください。配線を間違えますと、火災、その他の事故の原因となります。



- 本製品を取り付けの際には、必ず付属の取付用部品をご使用ください。取付用付属品をご使用にならないと、製品内部を壊し、ショート事故による火災が起こるおそれがあります。

また、取り付け不備により運転中に製品が外れて人に当たるなど、ケガの原因となります。



- 車両の板金部の近くを通るコードには、保護用テープを巻いてください。

コードが切れると、ショート事故により、火災となるおそれがあります。



▶次ページへつづく

## 警告



実施

- バッテリー電源（黄）を接続する車両側電源のヒューズ容量が、本機のヒューズ容量（10A）以上であることを確認してください。  
また、別売品のパワーアンプなどを接続する場合は、それらと本機との総ヒューズ容量が車両側のヒューズ容量以下であることを確認してください。もし、超える場合には、バッテリーから直接電源を取ってください。車両側のヒューズ容量を超える電源を接続すると、リード線の電流容量オーバーにより、火災などの事故の原因となります。
- 電源端子およびスピーカー端子のカバーが、端子の先端より長い場合は、接続が不完全になる場合があります。このような場合は、カバーの長さを端子の長さと同じになるように切り取ってください。
- 本製品の取り付け終了後に、車のブレーキランプ、ヘッドランプ、ウィンカー、ワイパーなどが正常に動作することを確認してください。正常に動作しない場合は、正常に動作するように取り付けをやり直してください。



- 事故防止のため、電池やネジなどの小物類は幼児の手の届かないところに保管してください。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。



禁止

- コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対にお止めください。リード線の電流容量をオーバーし、火災・感電の原因となります。



- 本製品を前方の視界を妨げる場所や、運転操作を妨げる場所、同乗者に危険を及ぼす場所には取り付けないでください。交通事故やケガの原因となります。



- アースコードを、ステアリング部やブレーキライン系統などの重要保安部品のボルトやナットに取り付けしないでください。事故などの原因となります。
- 車両電源配線用コード以外で延長しないでください。  
コードの被覆が破れやすく、ショート・発熱事故による火災が起こるおそれがあります。また、電流容量オーバーにより、火災が起こるおそれがあります。



**警告**

注意

- 車体に穴を開けて取り付ける際は、パイプ類・タンク・電気配線などの位置を確認のうえ、これらと当たったり接触することがないようにしてください。火災の原因になります。



- 本製品、または車両のヒューズが切れたときは、コードがショートしていないことを確認後、必ずヒューズに表示されている容量（アンペア数）の新しいヒューズと交換してください。規定容量以外のヒューズを使用しますと、火災の原因になります。
- 本製品は自動車のコンソールに設置してください。  
本製品の使用中および使用直後は、本体の背面や側面などの金属部分が熱くなっています。直接触ることはお止めください。火傷をする場合があります。

# 配線をしましょう

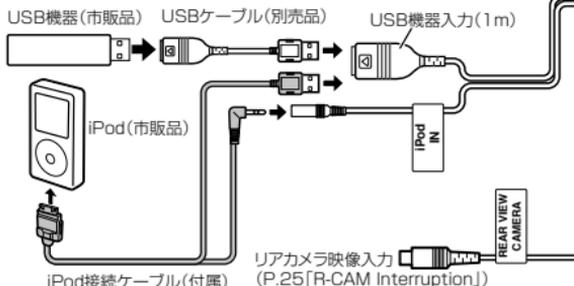


初めにエンジンキーが抜かれていることを確認後、ショート事故防止のため必ずバッテリーの⊖端子を外してください。

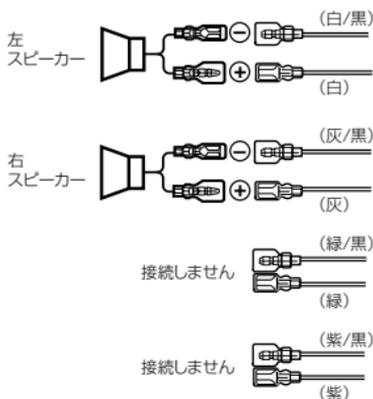
## 実施

1. エンジンキーを抜きます。
2. バッテリーの⊖端子を外します。
3. 各セットの入・出力コードを確かめて接続します。
4. 電源ハーネスのスピーカーコードを接続します。
5. 電源ハーネスをアースコード(黒)、バッテリー電源コード(黄)、アクセサリ電源コード(赤)の順に接続します。
6. 電源ハーネスのコネクターを本機に接続します。
7. 取り付け終了後に、バッテリーの⊖端子を接続します。
8. 電源をオンします。
9. ボリュームノブと **(MENU)** を押しながら **(SRC)** を3秒以上押して、本機をリセットします。

※ USBケーブルを延長するときは、CA-U1EX (別売品:最大電流500 mA)の使用を推奨します。  
USBケーブルを接続しないときは、キャップを外さないでください。コネクター部が車の金属部分に接触すると、本機の誤動作の原因になります。



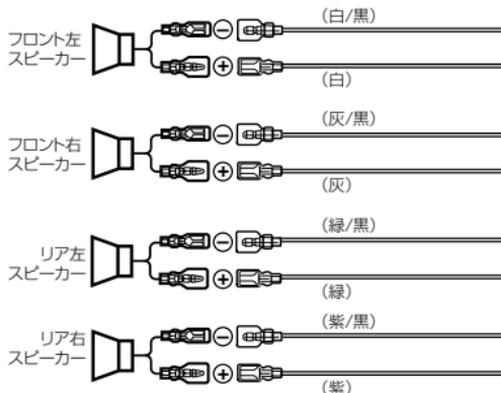
## 2スピーカー時のスピーカー接続方法



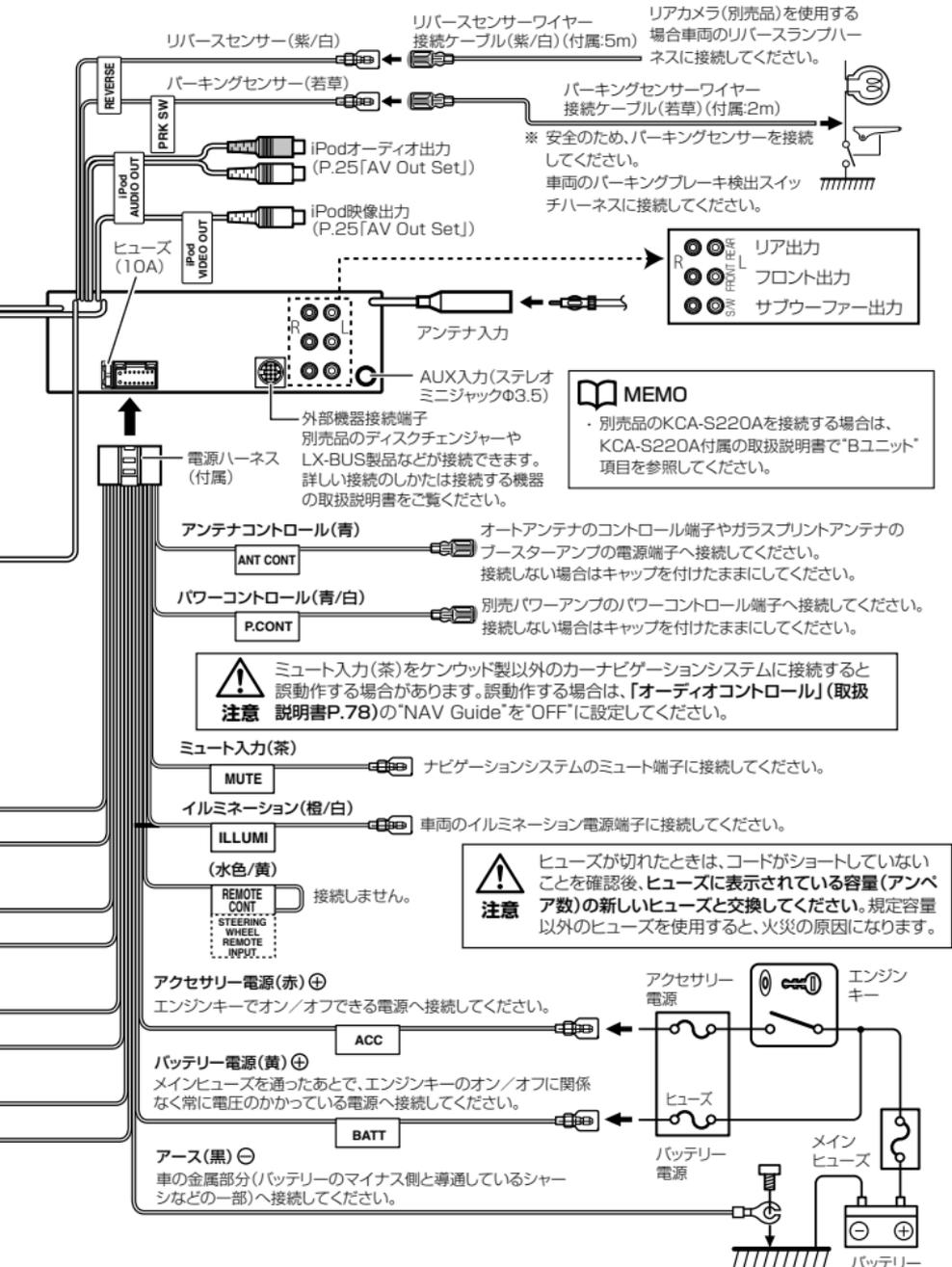
**注意** 接続しないスピーカーコードの端子は、端子に保護テープを巻くなどの絶縁処理を行ってください。

## MEMO

- ・AUX入力に接続するミニプラグケーブルは、抵抗の入っていないステレオタイプのもを使用してください。
- ・ナビゲーションシステムの音声出力は、AUX入力に接続します。

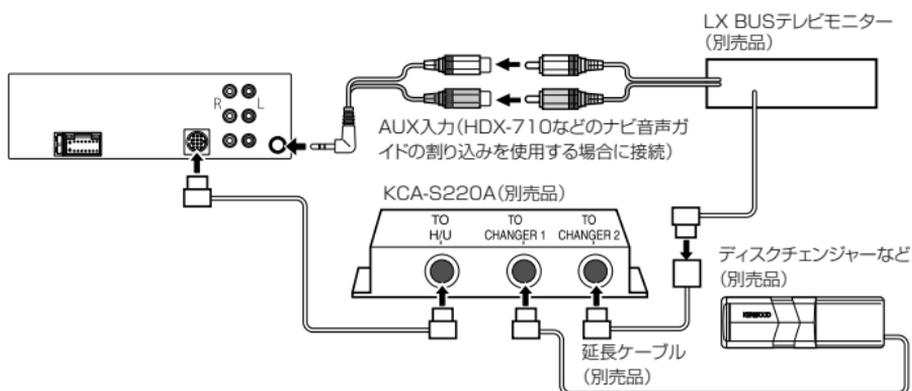


**注意** ・スピーカーコードの+⊖端子を車のシャーシなどに接触させないでください。  
・複数のスピーカーコードの⊖端子を共通にして接続しないでください。



## KCA-S220A (別売品) を使ってLX BUS テレビモニターを接続する場合

- LX BUS テレビモニターは、KCA-S220Aの「TO CHANGER2」端子に接続してください。
- HDX-710などでナビ音声ガイドの割り込みを行う場合は、「好みの音質に設定しよう (オーディオコントロール)」(取扱説明書P.78) の「NAV Guide」項目を「INT」にして、LX BUSケーブルを接続してください。



## 取り付けましょう

本機を車両ブラケットに取り付けます。

使用するのは、付属のトラスネジ (M5×6mm) またはサラネジ (M5×7mm) を4本です。

### MEMO

- 別売品のワイヤリングキットや取り付けキットを使用すれば、ご使用のお車に最適の方法で取り付けができます。キットは取り付けの車種に応じて用意されています。詳しくは販売店にお問い合わせください。

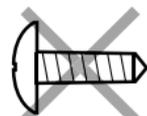
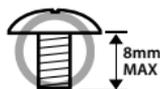


- 取り付けには必ず付属のネジをご使用ください。

付属以外の長いネジを使用すると、本機内部が破壊したり、発煙することがあります。

また、短いネジを使用すると、本機が取付ブラケットなどから外れることがあります。

なお、取り付けネジはトラスネジおよびサラネジが付属しています。車両に合ったネジをご使用ください。



## 本機に付属しているネジ

 トラスネジ (M5×6 mm) ×4

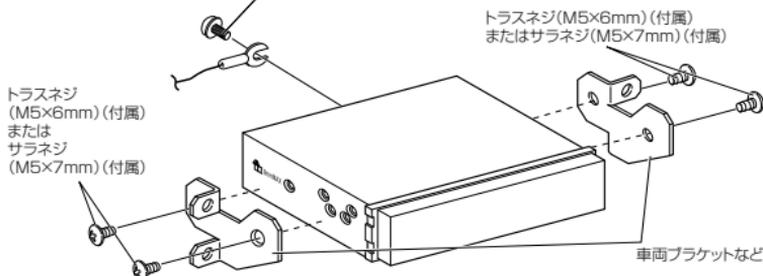
 サラネジ (M5×7 mm) ×4

 セムスネジ (M4×8 mm) ×1

セムスネジ

(M4×8mm) (付属)

※別売品のワイヤリングキットにアースコードがある場合は本機背面に付属のセムスネジで固定します。



- 操作パネルを持って取り付け／取り外しをしないでください。破損することがあります。



このシンボルマークはケンウッドにおいて環境に対する影響を軽減した商品であることをお知らせするマークです。

---

# KENWOOD

株式会社 ケンウッド

〒192-8525 東京都八王子市石川町2967-3

- 商品に関するお問い合わせは、JVCケンウッドカスタマーサポートセンターをご利用ください。  
フリーダイヤル 0120-2727-87  
携帯電話、PHS、IP電話からは 045-450-8950  
FAX 045-450-2308  
住所 〒221-8528 神奈川県横浜市神奈川区守屋町3-12  
受付時間 月曜～金曜 9:30～18:00  
土曜 9:30～12:00、13:00～17:30  
(日曜、祝日および当社休日は休ませていただきます)
- 修理などアフターサービスについては、お買い上げの販売店、または取扱説明書の「ケンウッド全国サービス網」をご参照のうえ、最寄りのサービスセンターにご相談ください。
- カスタマーサポートの向上のため、ユーザー登録 (My-Kenwood) をお願いしています。弊社ホームページ内で登録ができます。なお、詳細につきましては、利用規約等を事前にお読みください。  
<http://jp.my-kenwood.com>